

空間活用の考え方(両拠点間のアクセス強化の方向性)

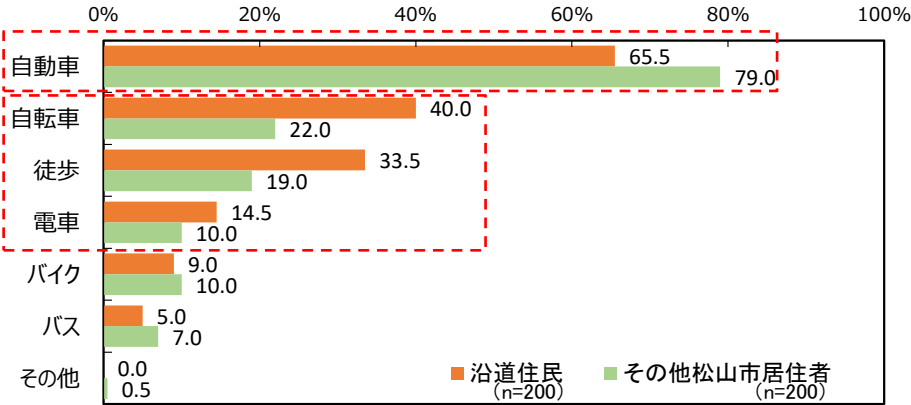
1. 拠点間を結ぶ大手町通りに求められる機能
2. JR松山駅前空間のゾーニング

1. 拠点間を結ぶ大手町通りに求められる機能

(1) 利用交通手段・利用目的

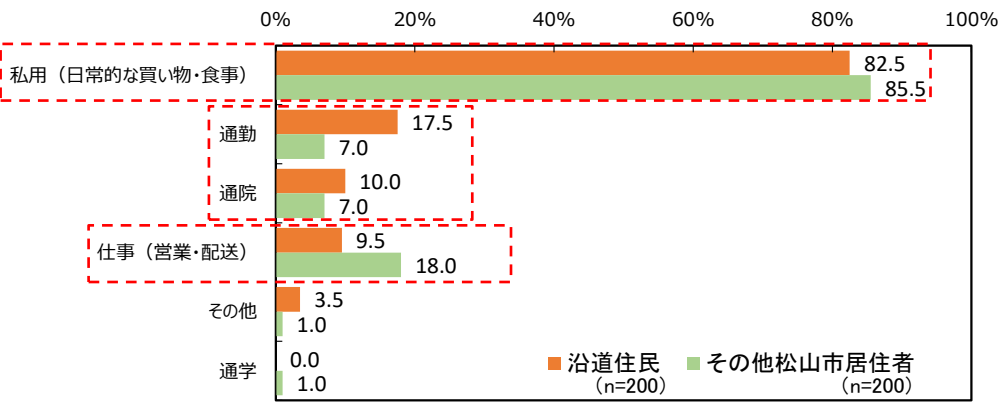
項 目	内 容
目 的	・ 沿道住民や来訪者にとって、「県都の玄関口としての高い機能性」を持つ大手町通りの実現に向けて、大手町通りに対する現状認識、大手町通りに対するニーズの把握。
実施概要	【調査対象】 ・ 沿道住民(大手町通りの概ね2km圏内居住)200サンプル、その他松山市居住者200サンプル 計400サンプル ※大手町通りをここ1年間の間に利用したことのある16歳以上の者 【調査方法】 ・ Webアンケート調査 【調査内容】 ・ 大手町通りの利用実態、大手町通り及び周辺道路(国道56号、国道196号)の印象、大手町通りにあれば良いと思うもの(平常時・災害時) 【調査実施時期】 ・ 令和4年10月27日(木)～31日(月) (5日間)

◆利用交通手段



※複数回答であるため、合計値は100%とならない。

◆利用目的



※複数回答であるため、合計値は100%とならない。

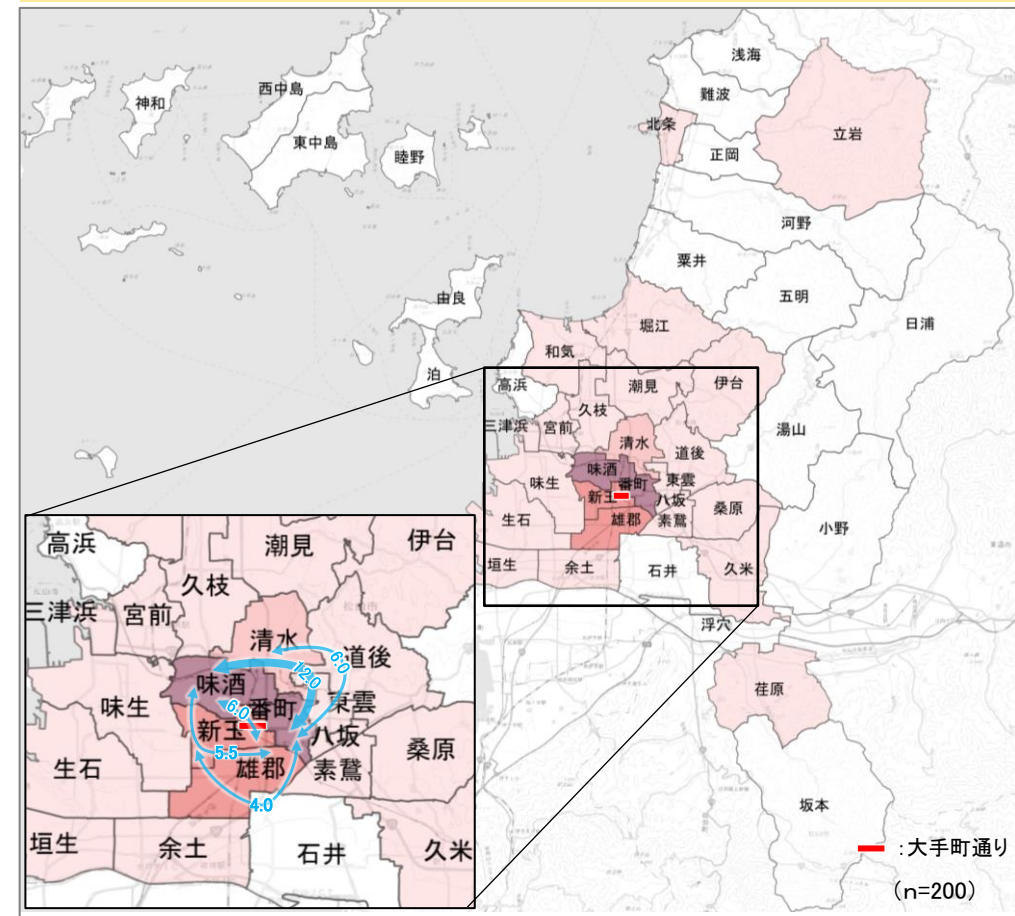
- ・ 私用(日常的な買い物、食事)での利用を中心としながら、「沿道住民」では、「その他松山市居住者」と比べて自転車と徒歩の利用割合が高く、また通勤や通院の割合が高くなっており、日常生活と関連した利用傾向が強くなっている。
- ・ 「その他松山市居住者」では、自動車の利用割合が高く、また仕事(営業・配送)の割合が高くなっているなど、業務目的での利用もみられる。

1. 拠点間を結ぶ大手町通りに求められる機能

(2) 大手町通りの主な出発地と目的地

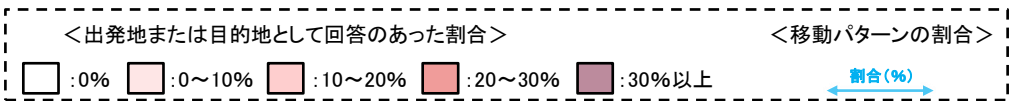
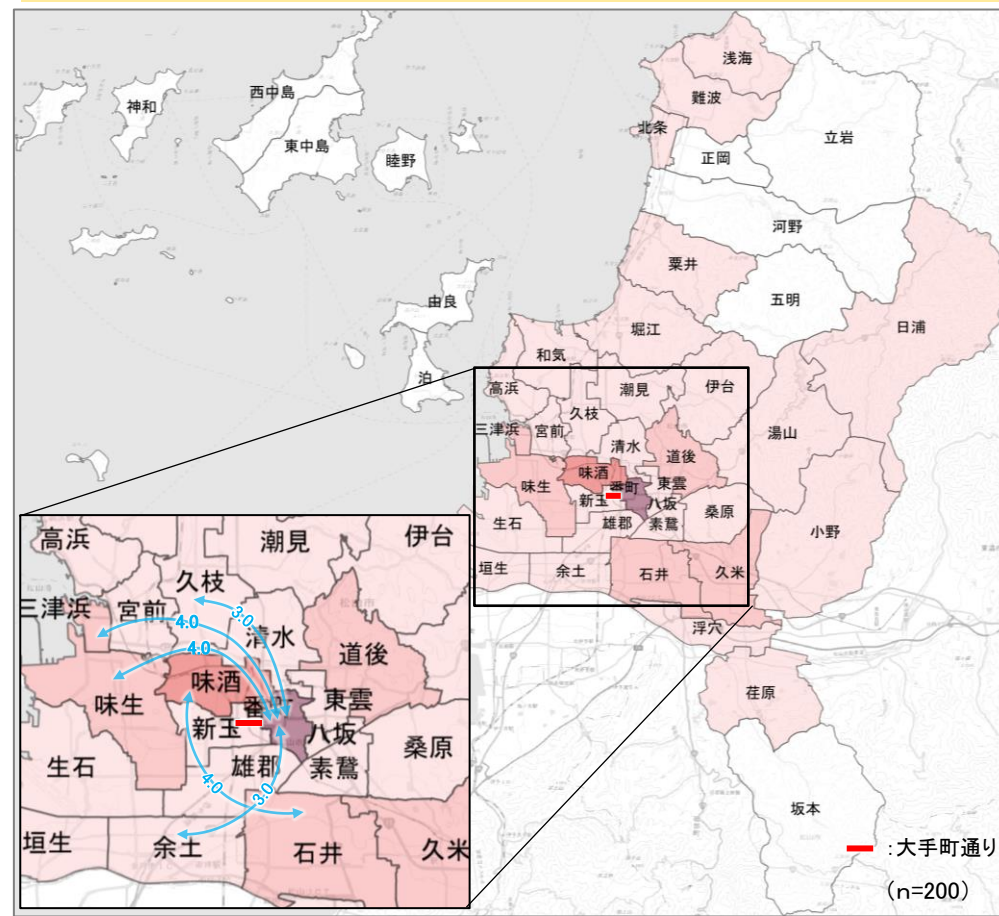
<大手町通り周辺の居住者>

- 複合商業施設や病院、住宅地を抱える「味酒」を出発地もしくは目的地、また松山市駅を中心に商業施設や主要機関が集積する「番町」を目的地として、大手町通りを利用して比較的短い範囲で移動するパターンが多くなっている。



<その他松山市の居住者>

- 住宅地を抱える「味生」や「石井」をはじめとする広範囲の地区から、大手町通りを利用して集客性の高い「味酒」と「番町」へ向かう移動パターンが多くなっている。

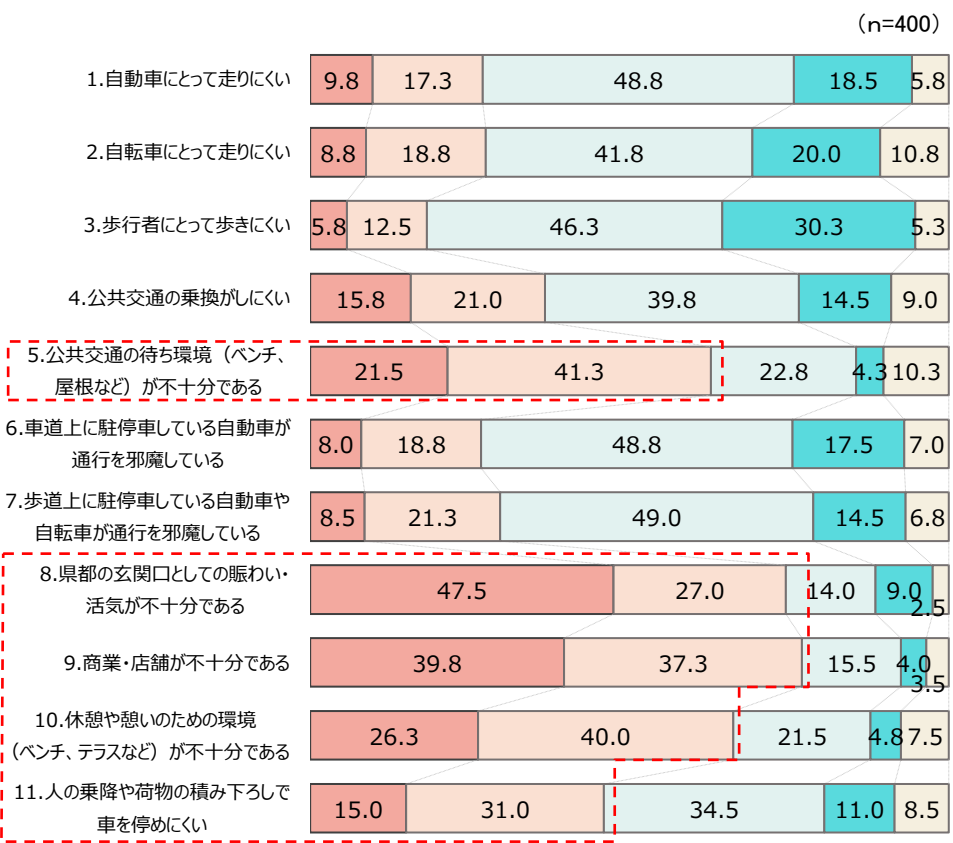


1. 拠点間を結ぶ大手町通りに求められる機能

(3) 大手町通り及び周辺道路に対する印象

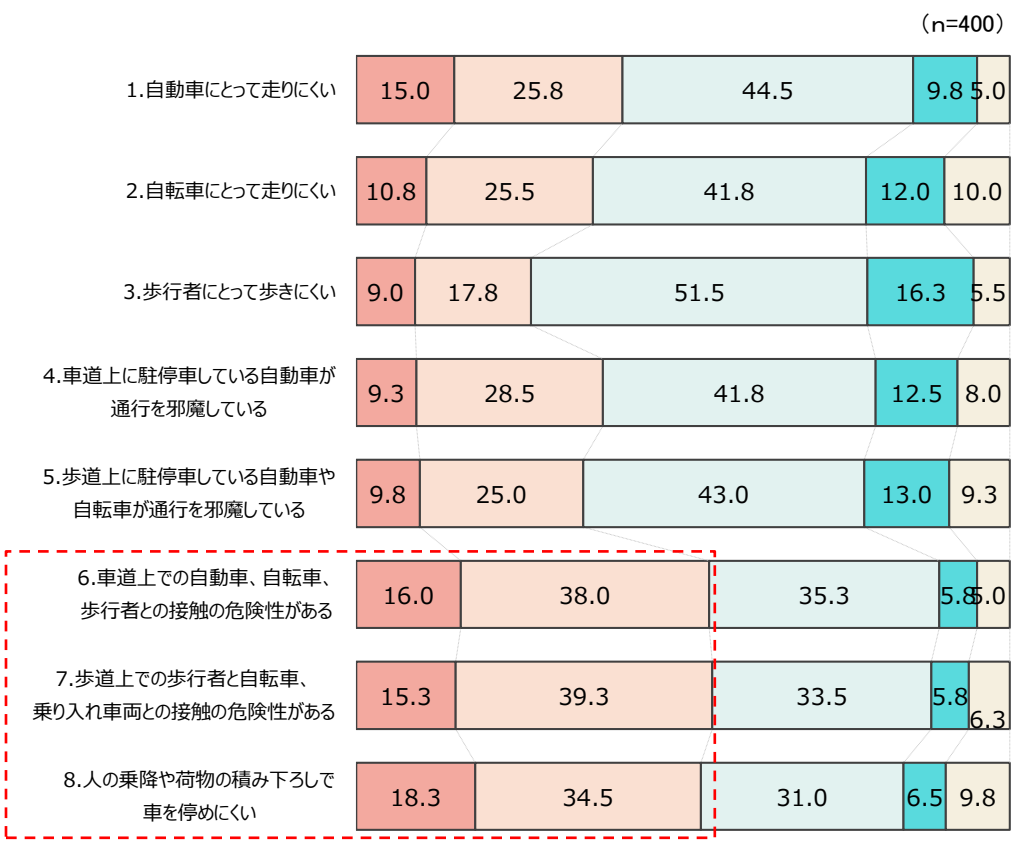
◆大手町通りに対する印象

- 県都としての賑わい、活気や公共交通の待ち環境、車両の一時停車に対して不十分との印象が高い。



◆大手町通り周辺の国道56号、国道196号に対する印象

- 車道及び歩道での交通安全面、車両の一時停車に対して、不十分であるとの印象が高い。



■そう思う □ややそう思う □あまりそうだと思わない ■そうだと思わない □わからない

1. 拠点間を結ぶ大手町通りに求められる機能

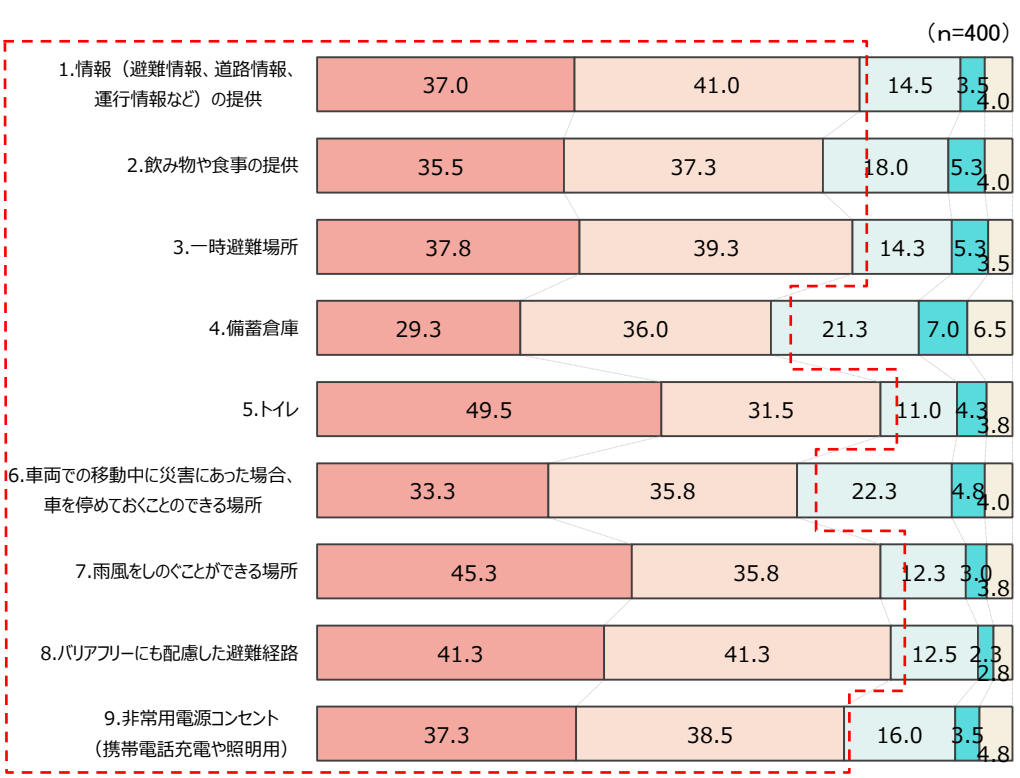
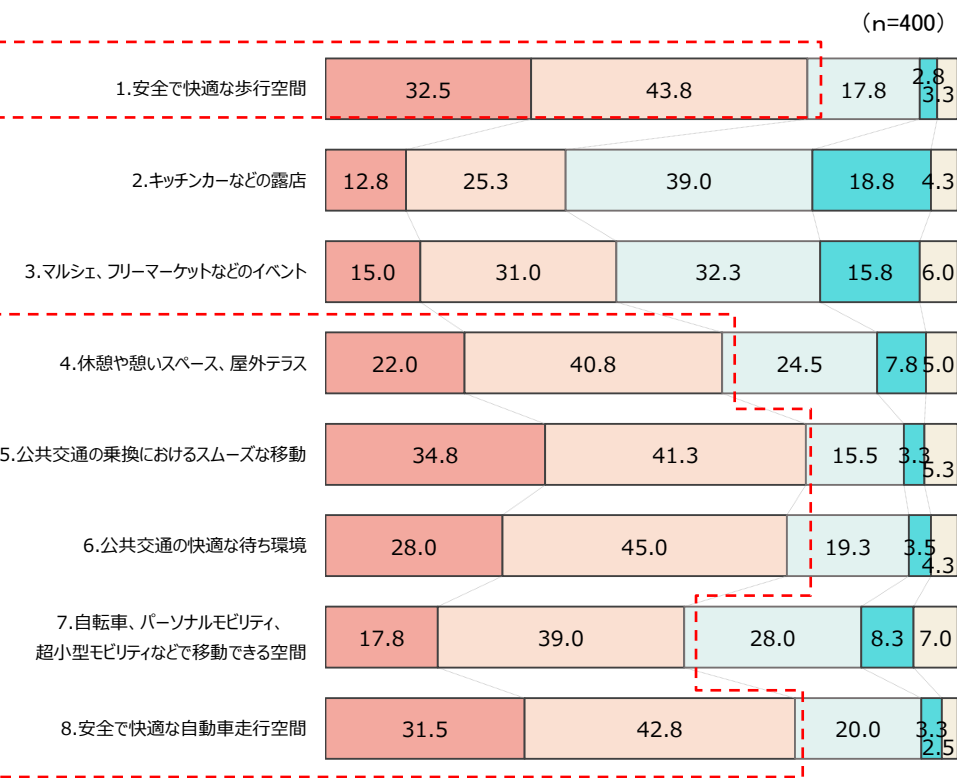
(4) 大手町通りにあれば良いと思うもの（平常時・災害時）

◆平常時

- 安全で快適な多様な交通モードの利用空間、歩道上での賑わいに繋がる憩い空間、公共交通の利用環境(乗換、待合)に対するニーズが高い。

◆災害時

- 全体的にニーズが高くなっている中で、特にトイレ、身の安全を確保できる場所・経路、情報提供に関するニーズが高い。



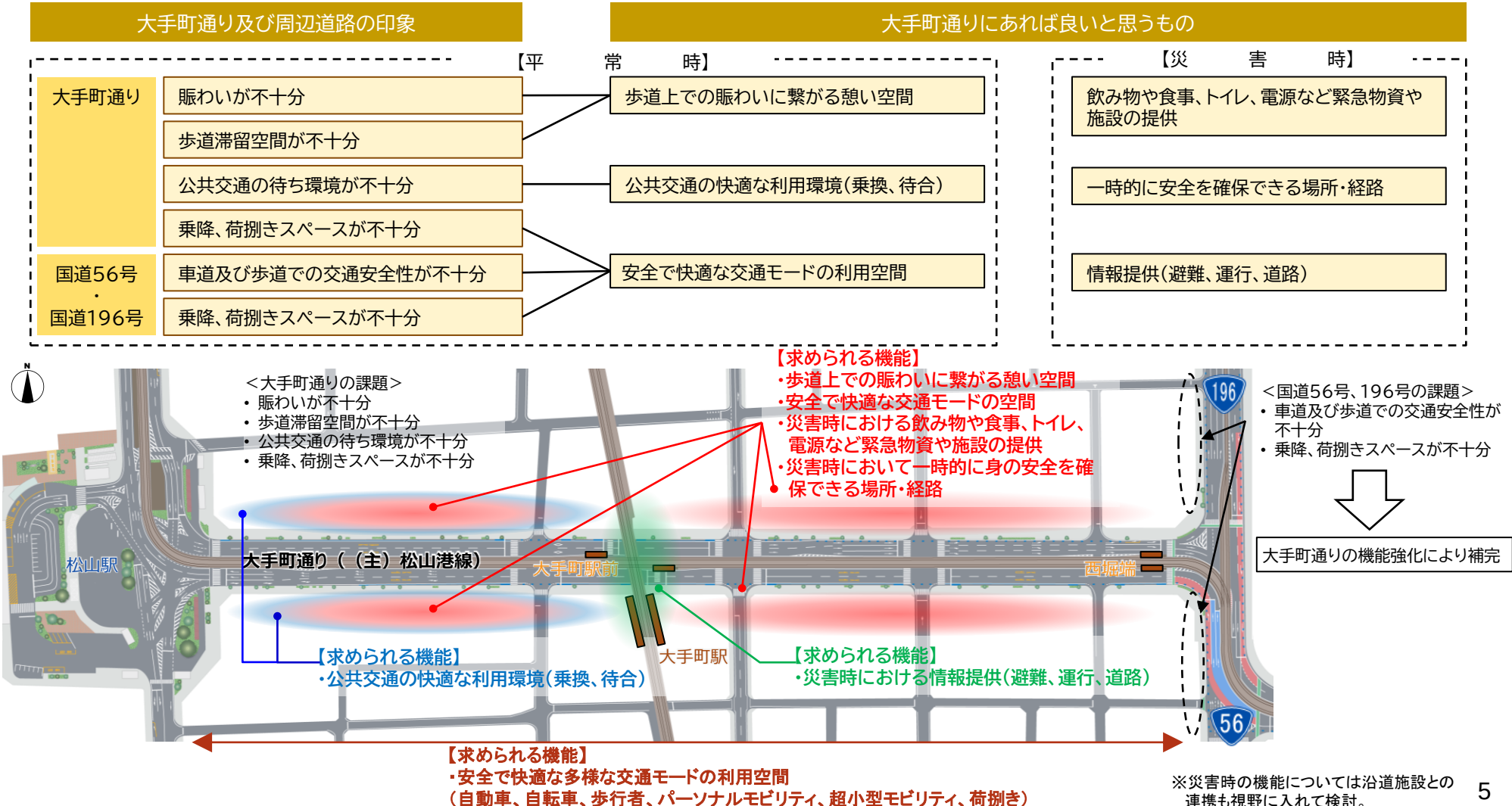
■そう思う □ややそう思う □あまりそうだと思う ■そうだと思う □わからない

1. 拠点間を結ぶ大手町通りに求められる機能

(5) 大手町通りに求められる機能

○大手町通り及び周辺道路に対する利用者ニーズを踏まえながら大手町通りの機能を強化することで、JR松山駅周辺の交通拠点機能の強化を検討する。

◆大手町通りに求められる機能



2. JR松山駅前空間のゾーニング

- 松山駅東口に交通ターミナルを配置し、東口は路面電車やバス・タクシー等の公共交通の乗降場を検討。
西口はタクシー乗り場、一般車の送迎スペース、一時駐車場を検討。
- 駅の東側には、交流空間を設け、賑わいや憩いの場として活用するとともに、駅～電停～交通ターミナルへの乗り換えや大手町通りへの来街を行うオープンスペースとなる。
- 県都の玄関口としての都市機能や利用ニーズを踏まえながら、商業施設や公益施設等を検討する。

